



# たま病院 ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2019



## 消化器外科手術の栄養管理

消化器・一般外科 部長 朝倉 武士

手術を行う上で、合併症を起こすことなく順調な術後回復を目指し、早期に社会復帰を果たすことが理想であり目標です。これを達成するためには、栄養管理が極めて重要であり、術後回復に大きく影響を及ぼします。また、外科侵襲で免疫力が低下し、感染症を中心とした種々の合併症の発生する可能性も有ります。これを出来るだけ防ぐためにも栄養管理が必要であり、職種共同栄養サポートチーム（NST：Nutrition Support Team）\*の関与が欠かせません。

手術を行う前には正しい栄養の評価\*\*が必要で、栄養状態が悪いと判断した場合には、手術を延期し栄養状態の改善を図る必要があります。その場合には、経口栄養剤の摂取・中心静脈栄養\*\*\*等を施行した後、再評価を行います。改善を認められれば外科治療を行います。認められない場合には外科治療を回避し代替治療を考えなければなりません。

手術後に、3大栄養素（蛋白質・炭水化物・脂質）が効率的に利用されずに、除脂肪体重（筋肉・内臓の重量）が低下してくると、合併症の発生が多くなると言われています。腸の働きは消化吸収と排泄ではありません。免疫細胞が多く存在し、異物や外敵から体を守る生体防御の最前線です。したがって、腸を使えるときには腸を使うことが手術後の栄養管理においても基本となります。早期経口摂取の促進はもとより、嚥下障害の回避、厳密な血糖コントロールを行うことは、回復過程においてとても大切になります。

消化器外科手術（特に消化器癌）は、症状や病気の進行をできるだけ早期に改善を図ることが大きな目的であることは言うまでもありませんが、それだけにとらわれず、合併症がない早期の退院を図るため、栄養の評価・管理がとても重要であることを念頭に置き手術に臨むことが大切となります。

NST*	: 医師、看護師、管理栄養士、薬剤師のほかで構成され、①栄養スクリーニング、②栄養療法の管理・選択、③合併症のチェック回診、モニタリング等からチームカンファレンスに基づいた提言を主治医に行います。
栄養の評価**	: ①アルブミン値：(基準値 3.5~5.0g/dl) 直近の栄養状態の改善指標としては適さない。 ②小野寺指数PNI(prognostic nutritional index；予後推定栄養指数： PNI=10×Alb+0.005×TLC Alb：血清アルブミン値(g/dl) TLC：末梢リンパ球数(/μL) 基準値45以上、40以下では縫合不全等の合併症に注意。 ③プレアルブミン(PA)：直近の栄養状態を鋭敏に反映。栄養状態や肝の蛋白合成能を速やかに反映するマーカーとして利用されている。(基準値 22.0~40.0)
中心静脈栄養***	: 心臓に近い大きな静脈にカテーテルを挿入し、カロリーの高い栄養を点滴から投与する完全静脈栄養法です。

### 最近よく耳にする高齢者の体力や栄養に関する言葉

サルコペニア	: ギリシャ語の筋肉（サルコ）と喪失（ペニア）の意。筋肉が減少し、体力や身体能力が低下している状態。 (①体格指数BMI（体重kg÷身長m÷身長m）が18.5未満、②横断歩道を青信号で渡り切れないことがある、③ペットボトルや瓶の蓋が開けにくい) 原因：加齢、活動性の低下、病気、栄養不足。
フレイル(虚弱)	: 加齢に伴い身体機能の低下、健康障害が起こりやすくなった状態。介護が必要となる前段階。

部門紹介

消化器外科

当科では、消化器疾患・消化器がん手術はもとより、鼠径ヘルニア、痔核などの一般外科疾患も対象とし、手術を中心に診療を行っています。胃、大腸、胆嚢などの腹腔鏡下手術を多く取り入れています。また、肝胆膵領域における高難度手術も行っております。

2018年は、手術総数560件（緊急手術123件）で鏡視下手術率43%でした。専門外来にはヘルニア外来・消化器がんを中心とした化学療法（抗がん剤治療）外来・肛門外来があり、週末を利用したヘルニア手術や抗がん剤治療を円滑かつ患者さんへの負担をできるだけ軽減できるよう心がけています。救急医療に関しても、急性期医療施設および災害拠点病院として、虫垂炎・消化管穿孔・腸閉塞・胆嚢炎などの急性腹痛の手術にも迅速に対応しています。今後も、市立病院として地域に根付いた外科診療を行うことを目標としていきます。



日本医療機能評価機構による  
病院機能評価の認定を取得



当院は、2019年5月10日に、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価（3rdG:Ver.2.0 一般病院2）」の認定を取得しました。

（認定期間：2019年6月5日～2024年6月4日）

病院機能評価は病院の組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的、科学的、専門的な見地から審査する第三者評価です。

当院は今後も、市民がいつでも、安心し満足できる、愛ある医療を提供できるよう、職員一同努めて参ります。

